

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる  
平成 28 年度事業報告  
(平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

## I. 年間の活動のまとめ

2016 年度は、組織が自立するためのソーシャルビジネスの加速と、活動した結果、社会変革が起きるのよう課題が解決したかを見る「評価」の潮流が強くなった1年だった。

課題を解決するのはNPOだけではないが、公益を謳っているNPO法人や非営利組織に期待されることは多い。しかし、課題を抱えた人々を対象とした活動に対して、すべてが対価を見込めるものではない。個別の相談や伴走型の支援など、個人からの対価を得ることは難しい。一方、困っていることを研究開発やアイデアで解決したことに対して、購買希望が出てくる場合もある。そのようなケースになると資金が獲得でき、継続性に繋がっていく。

ソーシャルビジネスは、多様な活動の中でも介護保険制度や障害者総合支援法に基づく事業は、営利でも非営利でも関係なく同じように展開できるが、それ以外で組織が雇用を生み出し、継続できるだけの収益が出るソーシャルビジネスは、そう簡単に見つかるものでもない。そして社会課題の解決につながる活動及び社会変革にも取り組む組織は、どれだけあるのだろうか。

平成 28 年 12 月 9 日、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」が公布された。民間公益活動の促進のため、民間の団体が行う活動に休眠預金を活用するという。すでに運用についての審議会が始まっているが、700 億を超えるといわれる休眠預金を社会課題の解決に使うために、使った後の成果がはっきり見えるための評価を重視している。顔が見えないお金の使い道とその効果を明確にすることは、5 年後の制度の見直しに向けては必須事項といえるが、日ごろのNPOの活動を見ていると必ずしも、事業開始前と終了後の効果が明確に出るものでもない。そもそもが目標値とするものが短期でできるようなことではないからこそ、長期にわたって活動を続けていることでもある。

震災から 5 年が過ぎたこの 1 年の活動は、その様な社会情勢に対してのアドボカシー活動と、従来から取り組んでいるNPOの基盤整備への支援、そして地域にとって最も重い課題である高齢者支援の体制づくりに取り組んだ。この活動はしばらく継続する必要がある。

### ■平成 28 年度重点目標に対しての活動

#### 1. NPOの現状を直視し、NPOの視点に立って、行政や市民に提言・提案する

月刊杜の伝言板ゆるる及び 10 月から始まった河北新報夕刊の「NPOの杜」では、地域の課題を明確にしたうえで活動内容の掲載を意識して発信した。

全国のNPO支援センターとともにNPO法の見直しや、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」の在り方に対しての議論を深め、行動した。

#### 2. 社会の変化を読み取り、NPOのあるべき姿を描き、創出する。

介護保険制度の一部改正に伴う地域の役割を認識し、個人の選択を尊重する在り方を重視した活動を支援した。

また、宮城県や仙台市との会議や意見交換の場では、市民を巻き込んで社会的課題の解決に取り組むことの重要性和市民協働の在り方を提言し、再検討を促した。

## Ⅱ. 活動に関する事項

### 1. 情報収集と提供

#### (1) 月刊杜の伝言板ゆるるの発行事業

1997年6月に創刊した『月刊杜の伝言板ゆるる』は、2017年5月号で240号となり、20周年記念号としてカラー刷りで発行した。市民が抱える課題に取り組むNPOの姿を取材したほか、常日頃から社会的課題解決に向け、取り組んでいる団体に原稿執筆を依頼し、団体の視点で市民に課題を伝える誌面作りにも取り組んだ。

仕 様：A4判1色16頁

発行部数：9,000部（平成29年5月号は創刊20周年記念号のため、10,000部発行）

配布先：約631か所

（県内公共施設・高等学校、一部仮設住宅、県外支援センター、他）

ページデザイン：齋藤 奈緒美

協賛広告：東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ、日本政策金融公庫

#### 【掲載内容】

	特 集
6月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者に寄り添う「春風の家」 女性患者のための『かつらdeサポート』 春風の家</li> <li>●熊本地震 支援活動報告 菅野芳春（一般社団法人ワタマスマイル）</li> <li>●今年は、どんな出会いが待っている？ NPOで高校生の夏ボラ体験2016</li> </ul>
7月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石巻の復興は子育て支援でリードしよう！ 荒木裕美（NPO法人ベビースマイル石巻）</li> <li>●地域社会で守ろう、子どもの権利と健全育成～児童福祉法の改正に寄せて～ 土佐昭一郎（NPO法人ミヤギユースセンター）</li> <li>●仮設住宅からの復興コミュニティ・デザイン～あすと長町での取り組み～ 新井信幸（東北工業大学）</li> </ul>
8月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生へ伝えたいNPOの思い～NPOで高校生の夏ボラ体験2016～</li> <li>●障がいをもちながらも安心して働ける職場をめざして 菊池茂（NPO法人シャロームの会）</li> <li>●「食」を正して健康な体と穏やかな心 NPO法人おりぎの家</li> </ul>
9月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●～5年間の歩み～『被災者支援から地域支援へ』 大森美和（NPO法人生活支援プロジェクトK）</li> <li>●健康で安全な消費生活を守るために 若狭久美子（NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット）</li> <li>●ゆるるのインターン生がレポートする“NPOで高校生の夏ボラ体験” 高橋実希</li> </ul>
10月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アートに出会うこと＝アート・ミーツ 活動の原点は楽しさ、それを引き出す出会い体験 泉田文陽（認定NPO法人ばぎーる太白社事業センター）</li> <li>●ジュニアリーダーの活躍 ～9.11「杜の子まつり in 石巻」から～ 齋藤純子（NPO法人せんだい杜の子ども劇場）</li> <li>●放課後、自分を表現しようー絵を描いたり、粘土で形を作ったりー NPO法人ぞうさんの家</li> </ul>
11月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本に寄り添いボランティアの文化を！～NPO法人仙台敬老奉仕会の取り組み～</li> <li>●多様性を認め合う社会を目指して 認定NPO法人 Switch 高橋由佳</li> <li>●組織を自己評価し、それを客観評価するエクセレントNPO大賞</li> </ul>
12月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●欲しい未来へ、寄付を贈ろう。 Giving December 寄付月間2016</li> </ul>
1月号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの居場所づくり 地域ぐるみで自由な遊び場を</li> <li>●日本とケニアの架け橋に～アマニ・ヤ・アフリカの取り組み～</li> <li>●決定 みやぎ社会貢献大賞 みやぎ発達障害サポートネット みやぎ小さな活動大賞 方言を語り残そう会</li> </ul>

2 月号	●アクティブ・シニアの力を活かす NPO法人とめ市民活動フォーラム ●設立35周年を迎えたあかねグループ 学習と実践を両輪に 認定NPO法人あかねグループ ●「ひとりじゃない」を感じられる場所 NPO法人子どもグリーンサポートステーション
3 月号	●募金で団体を応援しよう！ 社会課題解決 みやぎチャレンジプロジェクト ●スポーツで地域を元気に NPO法人 FIRST ASCENT JAPAN.
4 月号	●地域で守り、地域で育てる豊かな自然 NPO法人田んぼ ●栗原のまちづくり・地域づくり NPO法人 Azuma-re ●「7年目を迎えた石巻の就労課題とこれから」～若者支援の現場から～ 認定NPO法人 Switch
5 月号	●ゆるる 20年から見る市民セクターの今 市民社会創造ファンド運営委員長 山岡 義典氏 ●高齢者福祉の20年とこれから NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘氏 ●障害ある子を持つ母の福祉のわかり方 宮城県自閉症協会 会長 目黒 久美子氏 ●市民が主権者であるために NPO法人グループゆう 代表理事 中村 祥子氏 ●子ども・子育て支援のあゆみと今後の展望 NPO法人チャイルドラインみやぎ 小林 純子氏

① 「みやぎNPOプラザページ」

宮城県のNPO支援拠点「みやぎNPOプラザ」からページとしてNPO関連情報を掲載  
仕様：A4判1色1頁（『月刊杜の伝言板ゆるる』の8頁）

【掲載内容】

6月号	レストラン新運営い団体 一般社団法人ぶれいん・ゆに〜くす ~未来を創り出すレストラン~
7月号	新入居団体紹介 『つながり』を求めて
8月号	リニューアルで探しやすくなりました！
9月号	新入居団体紹介 公益社団法人日本てんかん協会宮城県支部
10月号	市民活動・NPOにまつわる相談は、みやぎNPOプラザにおまかせ！
11月号	気軽に社会のことを話せる場を！ 「きっかけと仲間が見つかる 市民活動カフェ」
12月号	新入居団体紹介 NPO法人 FIRST ASCENT JAPAN.
1月号	みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム 市民社会への創造 ~未来を拓くNPOであるために~開催！
2月号	プラザの常設ショップ・ギャラリー&貸事務室を活用して、新たな一歩を踏み出そう！
3月号	市民活動カフェ NPOに参加するきっかけに！
4月号	ボランティアと一緒に仲間の輪を広げよう！
5月号	※創刊20周年記念号のため、休載

② 「information」

助成金情報コーナーや各市民活動団体から寄せられるボランティア募集情報等を掲載

【掲載数】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
info	25	25	24	26	23	24	23	22	21	24	24	17	261
助成金	7	6	7	6	6	5	7	6	7	6	6	6	69

③ 広告協賛

バックページおよび information 下欄を活用し、希望する市民活動団体や企業、行政等に告知ページとして有料で提供している。今回は下記3団体のほか、みやぎNPOプラザの広報誌面として提供した。

- ・ 東北労働金庫 6月号、9月号、12月号、2017年3月号
- ・ 日本政策金融公庫 8月号
- ・ かほく「108」クラブ 2017年3月号 ・みやぎNPOプラザ

## (2) 仙台放送ニュースアプリに掲載情報の提供

2016年1月に開始したスマートフォン用仙台放送ニュースアプリに月刊杜の伝言板ゆるるに掲載した記事が無償で提供している。

配信月	配信内容	掲載号
2016.6月	患者に寄り添う「春風の家」女性患者のための『かつら de サポート』	2016.6月
	熊本地震 支援活動報告	
	今年は、どんな出会いが待っている？ NPOで高校生の夏ボラ体験 2016	
2016.7月	石巻の復興は子育て支援でリードしよう！	2016.7月
	地域社会で守ろう、子どもの権利と健全育成～児童福祉法の改正に寄せて～	
	仮設住宅からの復興コミュニティ・デザイン～あすと長町での取り組み～	
2016.8月	高校生へ伝えたいNPOの思い～NPOで高校生の夏ボラ体験 2016～	2016.8月
	障がいを持ちながらも安心して働ける職場をめざして	
	「食」を正して健康な体と穏やかな心	
2016.9月	～5年間の歩み～『被災者支援から地域支援へ』	2016.9月
	健康で安全な消費生活を守るために	
	ゆるるのインターン生がレポートする “NPOで高校生の夏ボラ体験”	
2016.10月	アートに出会うこと＝アート・ミーツ 活動の原点は楽しさ、それを引き出す出会い体験	2016.10月
	ジュニアリーダーの活躍 ～9.11「杜の子まつり in 石巻」から～	
	放課後、自分を表現しよう －絵を描いたり、粘土で形を作ったり－	
2016.11月	日本に寄り添いボランティアの文化を！ ～NPO法人仙台敬老奉仕会の取り組み～	2016.11月
	多様性を認め合う社会を目指して	
	組織を自己評価し、それを客観評価する エクセレントNPO大賞	
2016.12月	欲しい未来へ、寄付を贈ろう。 Giving December 寄付月間 2016	2016.12月
2017.1月	子どもたちの居場所づくり 地域ぐるみで自由な遊び場を	2017.1月
	日本とケニアの架け橋に～アマニ・ヤ・アフリカの取組み～	
	決定 みやぎ社会貢献大賞 みやぎ発達障害サポートネット みやぎ小さな活動大賞 方言を語り残そう会	
2017.2月	アクティブ・シニアの力を活かす	2017.2月
	設立 35 周年を迎えたあかねグループ 学習と実践を両輪に	
	「ひとりじゃない」を感じられる場所	
2017.3月	募金で団体を応援しよう！社会課題解決 みやぎチャレンジプロジェクト	2017.3月
	スポーツで地域を元気に	
2017.4月	地域で守り、地域で育てる豊かな自然	2017.4月
	栗原のまちづくり・地域づくり	
	「7年目を迎えた石巻の就労課題とこれから」～若者支援の現場から～	
2017.5月	ゆるる 20年から見る市民セクターの今	2017.5月
	高齢者福祉の 20年とこれから	
	障害ある子を持つ母の福祉のわかり方	
	市民が主催者であるために	
	子ども・子育て支援のあゆみと今後の展望	
	この 20年 で変わったこと、変わっていないこと	

## (3) 河北新報夕刊「NPOの杜」の掲載

2016年10月3日から河北新報社が発行する河北新報夕刊月曜版にNPOに関するコラム「NPOの杜」(5面)のコーナーを開始。ボランティア活動・市民活動の情報発信をミッションの一つに掲げる当法人としては、依頼により執筆を担当している。

## 【掲載一覧】

回数	掲載日(月曜)	タイトル	団体名
1	10月3日	市民による市民のための活動	NPO 法人杜の伝言板ゆるる
2	10月17日	多様な生きづらさを知る	NPO 法人黒川こころの応援団
3	10月24日	その人らしく暮らす	NPO 法人宮城ろう重複連絡会そよかぜ広場
4	10月31日	地域の未来は世代間交流で	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家
5	11月7日	見て見ぬふりはできない	NPO 法人アミューズおひさま
6	11月14日	冬を迎える路上生活者	NPO 法人仙台夜まわりグループ
7	11月21日	悲しみを分かち合う	NPO 法人仙台グリーンケア研究会
8	11月28日	未来を育てる種をまく	特例認定 NPO 法人ハーベスト
9	12月5日	心の居場所	NPO 法人高齢者サポートチームしおたが
10	12月12日	古里の自然と向き合って	NPO 法人名取ハマボウフウの会
11	12月19日	障害者アートの社会化	NPO 法人エイブル・アート・ジャパン
12	12月26日	自分だけじゃない	公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
13	1月16日	エコライフをサポート	仙台生ごみリサイクルネットワーク
14	1月23日	サウジアラビアと NPO	
15	1月30日	情報の格差をなくすために	NPO 法人パソコン要約筆記文字の都仙台
16	2月6日	小さな命をつなぐ	アニマルピース
17	2月13日	郷土の魅力を伝える	NPO 法人仙台城ガイドボランティア会
18	2月20日	ひきこもりの悩みを共有	NPO 法人 KHJ 宮城県「タオ」
19	2月27日	自主夜間中学 学ぶ喜び	仙台に夜間中学をつくり育てる会
20	3月6日	障がい者の自立を支援	CIL たすけっと
21	3月13日	地域のために時間の寄付を	
22	3月27日	子育てに電話で寄り添う	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場
23	4月3日	スポーツ文化を支える	市民スポーツボランティアSV2004
24	4月10日	培った経験で IT 普及	NPO 法人イーエルダー東北支部
25	4月17日	てんかん 一人で悩まないで	公益財団法人てんかん協会宮城県支部
26	4月24日	食を通じてつなぐ善意	NPO 法人ふーどばんく東北 AGAIN
27	5月1日	助けてと言える場所	キャップネットみやぎ
28	5月8日	地域にシニアセンターを	
29	5月15日	心のよりどころとして	Sendai Forza
30	5月22日	仙台からケニアを支援	NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ
31	5月29日	あったらいいなを追求	認定 NPO 法人 みやぎ発達障害サポートネット

## 2. 人材育成事業

### (1) NPOで高校生の夏ボラ体験 2016 プログラム

将来、地域の担い手となる若年層がNPOに出会うきっかけを作るため、2003年から始めた「NPOで高校生の夏ボラ体験」プログラムは、今年度で14回目を迎え、通算で1776名の参加者となった。

今まで多くの申込みがあったにも関わらず、日程が合わない、連続して参加できないという理由で体験につなげることができなかった高校生もいたことから、4月に受け入れNPOによるプログラム意見交換会を実施した。1日型プログラムについては、「団体や活動の意義を知ってもらうためには1日では厳しい」という意見があり、基本的に3日の連続したプログラムとするが、最大5日間まで高校生が希望する場合、体験可能とした。

スポンサーとして、今年度は新たな取り組みとして、株式会社セレクトィー及び学校法人東北文化学園大学から協賛を得てプログラムに協賛広告を掲載した。

共催： かほく「108」クラブ

協賛： 東北労働金庫 株式会社セレクトィー 学校法人東北文化学園大学

後援： 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 栗原市教育委員会 登米市教育委員会

大崎市教育委員会 石巻市教育委員会 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会

利府町教育委員会 大河原町教育委員会 山元町教育委員会

事前学習会： 7月16日（石巻）、16日（大崎）、17日、18日（仙台）

体験期間： 7月21日～8月24日

受入団体： 32団体（受け入れ希望団体数は36だったが、マッチング前後のキャンセル発生のため、4団体受入なし）

活動分野内訳： 子ども7団体、国際交流2団体、高齢者1団体、障がい児・者支援6団体  
中間支援4団体、高齢者福祉8団体、ホームレス支援2団体、スポーツ振興1団体、環境1団体

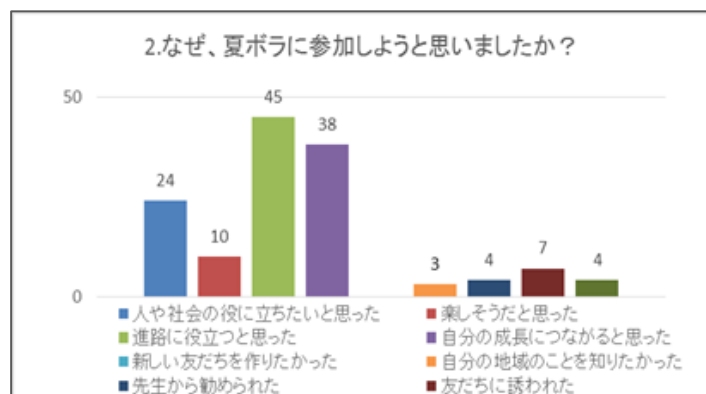
体験者数： 134名

参加高校数： 33校

ボランティア参加日数と人数：

134名中 (2016年度)	1日体験	2日体験	3日体験
	4名 (2.98%)	34名 (25.3%)	96名 (71.6%)

アンケートより参加の動機



■ 「NPOで高校生の夏ボラ体験 2016 体験談集」を発行

体験談集仕様：A5判1色196頁 500部

体験談数：118名の体験談を掲載

配布先：参加高校生、受け入れ団体、県内全高等学校など

**【事業成果】**

例年参加者が増加している石巻圏域において、活動の趣旨に賛同する新たな受入団体を開拓することができた。また、県北からの参加が減少しているため、受入団体も自ら高校を訪問し、参加を募るよう行動を呼び掛けた。結果、訪問した団体は参加者を獲得することができた。

昨年度から実施している高校生への体験後のアンケートを今年度も実施した。アンケートからは、「今後、ボランティア活動に参加したいですか」の設問に、ぜひ参加したい55.1%、機会があれば参加したい46.3%と、回答があり、この企画の趣旨であるNPOを知ること、その後の関心分野を広げていくきっかけを提供することができた。

(2) 住友商事インターンシッププログラム

住友商事株式会社が東日本大震災の被災地で実施する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2016」の「インターンシップ奨励プログラム」助成を受けて、当法人へ1名のインターンシップ生を受け入れ、育成した。

インターンシップ生：東北大学 女性1名

受け入れ期間：平成28年7月1日～平成29年3月31日

活動時間数：225.5時間

活動内容：

- ・「NPOで高校生の夏ボラ体験 2016」運営サポート
- ・「月刊杜の伝言板ゆるる」2016年9月号、2017年1月号、2月号の取材・執筆・発送準備
- ・イオン黄色いレシートキャンペーン店頭にて声掛け

**【事業成果】**

受入にあたっての要件であった受入期間中の活動時間(200時間以上)を越えることができ、若い世代に、「NPO・市民活動」という価値観と、「NPO支援」という分野の活動があることを理解してもらう貴重な機会となり、組織としても人材育成に関わる機会を作ることができた。

今年度は、インターン生が定期的に活動する日程を確保できたことで、月刊杜の伝言板ゆるるの取材・執筆に3回も携わってもらうことができた。「取材力・文章力」を身に付ける、学びたいというインターン生本人の希望も沿いつつ、当法人としてもあらたなプログラムを提供することができた。また、NPOで高校生の夏ボラ体験 2016 では体験談集発行も担当し、自分が制作したという達成感を感じてもらうことができた。

(3) みやぎNPO経営ゼミ

～タケダ・いのちとくらし再生プログラム 組織基盤強化事業(第2期)～

東日本大震災により被災した地域の復興のため、武田薬品工業株式会社からの寄付をもとに2011年4月より行われている「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の第2期の組織基盤強化事業の一環として、新規に認定NPO法人日本NPOセンター(東京)が被災地3県(岩

手・宮城・福島)の中間支援組織と協働で実施する事業。

このゼミは、震災から5年を目前に、復興に向け被災地で活動している市民活動団体、特に今後を担っていく組織のリーダーを育成し、地域での継続した活動、他団体との連携強化につなげていくことを目的としている。宮城県では当法人とがみやぎNPOゼミの事務局として運営した。

【第1期みやぎNPO経営ゼミ】2016年2月～2017年3月(全10回)

育成メンバー：6団体 6名

2016年6月～3月の実績

	実施日	テーマ	講師・コーディネータ
第4回	7月6日(水)	行政とのつきあい方	嵯峨生馬 (NPO法人サービスグラント代表理事) 中村祥子 (認定NPO法人グループゆう代表理事)
第5	8月28～29日	事業戦略(中長期の経営戦略)を考える	田尻佳史(認定NPO法人日本NPOセンター特任理事)
第6	10月27日(木)	チームづくりにおいて今後取り組むこと	島山明(株式会社セレクトィー代表取締役)
第	12月16日(金)	チームづくりの中間発表とブラッシュアップ	田尻佳史(認定NPO法人日本NPOセンター特任理事)
第8・9回	1月12日(木)～1月14日(土)	ボランティアマネジメント・住民参加・組織運営	永井美佳(社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長) 播磨靖夫、成田修 (一般財団法人たんぼぼの家) 中村順子(認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長)
第10回	3月28日(火)	経営ゼミを通しての自身の変化、今後について	田尻佳史(認定NPO法人日本NPOセンター特任理事) 大久保朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

【第2期みやぎNPO経営ゼミ】2017年4月～2018年3月(全10回)

4月12日 岩手、福島、宮城の経営ゼミ事務局の合同会議を実施。

宮城は、ゼミ生が確定せず、第1回の開講は6月1日に決定した。

【事業成果】

1期生は、ゼミ生6名が全10回に参加した。それぞれの団体が抱えている課題、今後の目標・計画などを、具体的に考える機会を提供することができた。そして、それぞれが持つ課題を出しあい、講座の進め方等も、ゼミ生が検討するなど、主体性を持ったゼミとなった。今後は参加メンバーの関係性をより深め、県内の次世代の担い手を応援していく。

(4) 平成28年度仙台市協働人材育成事業への協力

仙台市職員をNPO等市民活動団体に派遣することにより、実体験をとおしてNPO等に対する理解を深めるとともに、市民協働に関する理解や必要性の認識を高めることで、庁内で協働を推進する人材を幅広く育成することを目的に行っている事業。当法人は1名を受入れた。



受入状況：仙台市役所用地課より1名（女性）

活動日：10/21、10/26、11/9、11/17、12/14（計5日間）

1月25日の報告会にも出席

活動内容：・NPOについての基礎レクチャー

・月刊杜の伝言板ゆるる 文字校正

・とめシニア・アカデミー 講座運営

・月刊杜の伝言板ゆるる 取材、原稿執筆（1月号掲載） など

### 【事業成果】

NPO・市民活動団体と普段関わる機会のない部署の仙台市職員に、NPOやNPOを支援する活動について、実際に現場を見ながら、理解を深めてもらった。特に、NPOを取材し、月刊杜の伝言板ゆるるの記事を執筆したことは、よりNPOの理解を深めてもらう良い機会となった。

## 3. NPOの組織基盤整備支援事業

### (1) NPO法人運営力向上セミナー

仙台市内の特定非営利活動法人（NPO法人）の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を安定したものにし、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につながることを目的とした平成28年度仙台市NPO法人組織基盤安定化事業を仙台市と協働で実施した。

事業期間：平成28年9月14日から平成29年3月15日まで

会場：仙台市市民活動サポートセンター、青葉区中央市民センター、  
仙台市情報・産業プラザ

対象：仙台市内のNPO法人（概ね設立3年程度の仙台市所轄のNPO法人を主に）

#### ① 講座の開催

##### i) 会計講座

日常的な日々の金銭管理の方法から決算まで、正確な会計処理を行う方法を学ぶことを目的に以下の講座を、初級編（午前）・中級編（午後）の1日型で開催。

内容：会計の流れや証憑書、帳簿の付け方、勘定科目の設定、基本的な仕訳について、決算に向けての会計業務 など

日時	講座名	講師	参加団体数
11月25日（金） 10：00～12：00 13：00～16：00	がっちり基本！ NPO会計1日型セミナー	小野 恵子さん （会計サポーター）	初級編 5団体5名 中級編 6団体6名 （のべ11団体11名）

##### ii) 税務講座

内容：NPO法人に係る税金の基礎や、課税対象事業、消費税に関する基本的仕組みなど

日時	講座名	講師	参加団体数
12月12日（月） 14：00～16：00	しっかり基本！ NPO法人に関わる税金のイロハ	田中 武司さん （税理士）	8団体10名

## iii) 労務講座

内容：雇用に係る手続きや各種保険制度の概要、就業規則の記載方法など

日時	講座名	講師	参加団体数
3月2日(木) 13:30~15:30	雇用に関わるNPO労務の基礎	若山 章一郎さん (社会保険労務士)	13団体16名

## iv) 事務局運営講座

内容：年間を通じた事務局業務の確認や、所轄庁・法務局への手続き、提出書類についてなど

日時	講座名	講師	参加団体数
1月26日(金) 14:00~16:00	信頼や共感を得るための 事務局運営講座	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言 板ゆるる 代表理事)	19団体23名

## v) 認定・仮認定の取得促進

内容：認定NPO法人制度の概要やメリット、申請時の要件・必要書類・申請スケジュール等

日時	講座名	講師	参加団体数
2月15日(水) 14:00~16:00	めざせ！認定NPO法人セミナー	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言 板ゆるる 代表理事)	13団体14名

## vi) その他

内容：ボランティア・コーディネートについて、助成金申請前にやるべき事業づくりや申請書の書き方のコツなど

日時	講座名	講師	参加団体数
10月25日(火) 14:00~16:00	『ボランティア力』引き出しセミナー	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言 板ゆるる 代表理事)	16団体23名
11月18日(金) 13:30~16:30	組織を成長させるための助成金活用 セミナー	山田 泰久さん (NPO法人CANPANセ ンター 代表理事)	12団体16名

## ②個別相談会の実施

専門家に相談依頼のできない予算規模の脆弱なNPO法人のために、仙台市所管のNPO法人を対象に専門家対応の個別相談会（無料）を開催し、セミナーなどではなかなか聞くことの出来ない個別の案件に対応した。

## i) 会計・税務相談

相談団体数：9団体

相談員：岡田実さん（税理士）、平野由紀子さん（税理士）、  
八島徳子さん（公認会計士・税理士）

相談時間：1団体1時間

## ii) 労務相談

相談団体数：3団体

相談員：若山 章一郎さん（社会保険労務士）

相談時間：1団体1時間

## iii) NPO運営相談（助成金申請相談）

相談団体数：4団体

相 談 員：大久保朝江（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事）

相 談 時 間：1 団体 1 時間

### 【事業成果】

ボランティア、助成金、事務局運営に関する講座に参加者が多かった。

会計の相談は想定した団体数に達した。

## （2）会計サポーター派遣事業

平成 22 年度から養成した会計サポーターが平成 29 年 5 月末現在 12 人の登録あり、県内の NPO に会計サポーターを派遣している。

また、平成 28 年 4 月より会計の実務処理を有償で請負い、会計の専従スタッフがいない NPO の会計処理をサポートしている。但し、当面は仙台市内の団体を対象とした。

### ① 支援内容

- ・活動決算書作成や会計処理の指導  
会計やお金の管理、仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス、会計ソフトの導入支援  
活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポートほか
- ・経理事務代行  
記帳代行、領収証・請求書整理、決算書作成、会計ソフトの初期設定ほか

### ② 派遣態勢

- ・通常派遣（単発）  
サポート料金：派遣 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円  
会計ソフト初期設定 5,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回  
サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【平成 28 年度実績】 派遣団体数：13 団体

派遣回数：39 回 派遣サポーター：5 名

- ・経理事務代行  
サポート料金：年間登録料 10,000 円（税別）  
訪問 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円  
会計ソフト初期設定 5,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回  
サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【平成 28 年度実績】 派遣団体数：1 団体 派遣サポーター：1 名

派遣回数：22 回（H29.1 月～5 月末）

※平成 29 年 1 月より消費税を別途徴収することにした。

気仙沼市など遠方の団体からの依頼に対しては、移動時間 2 時間分を料金に含めることにした。

### 【事業成果】

会計サポーター派遣事業と経理事務代行業のサポート態勢が職員内でも共有できないできたが、会計の人材不足の NPO からは期待を持たれている。より多くの NPO の要望に応

えるよう周知したいが、派遣できる会計サポーターが十分ではないうえ、対応できる人材の育成が必須となっている。

#### 4. 調査研究・講師派遣・コンサルティング事業

##### (1) 平成 28 年度仙台市市民活動団体等実態・意向等調査業務

仙台市では、平成 27 年度に、「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」を施行し、同条例に基づき、「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」を策定した。今後、多様な主体の協働によるまちづくりの推進に向けて、市民活動団体などの実情やニーズなどを把握し、「仙台市協働まちづくり推進プラン 2016」や協働を推進するための新たな助成制度などを検討するための調査。(仙台市からの委託)

##### ① 調査の集計と分析

※ 仙台市が実施した下記のアンケート調査のデータをもとに単純集計とクロス集計を実施。

- i) 調査地域 仙台市内
- ii) 調査対象 仙台市に事務局を置く NPO (特定的非営利活動法人、市民活動を行う任意団体、ボランティア団体、一部の公益法人等) 890 団体
- iii) 抽出方法 仙台市が所管する特定非営利活動法人、仙台市市民活動サポートセンターを利用している団体のうち団体情報の使用を了承している団体および「みやぎ NPO ナビ」に事務所の所在地等の団体情報を掲載している市民活動団体を抽出
- iv) 調査方法 郵送配布・郵送回収 (自記式)
- v) 調査期間 平成 28 年 4 月 8 日～平成 4 月 22 日
- vi) 回収結果 有効回収率 345 件 (有効回収率 38.8%)

##### ② 個別ヒアリング

- i) 調査地域 仙台市内
- ii) 調査対象 仙台市内 5 区の町内会 (連合町内会 3、単位町内会 2)、仙台市内の市民活動団体 (特定非営利活動法人 10、任意団体 5) 仙台市内の企業 (6)、宮城県内の大学 (仙台市内 3、市外 1)。計 30 団体。
- iii) 調査方法 訪問によるヒアリング
- iv) 調査期間 平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 6 月 21 日

##### ③ 助成制度実施調査

- i) 調査地域 全国
- ii) 調査対象 企業、公益財団法人、特定非営利活動法人、自治体 等
- iii) 調査方法 インターネットによる団体ホームページの検索および電話によるヒアリング
- iv) 調査期間 平成 28 年 6 月 13 日～平成 28 年 6 月 25 日

#### 【事業成果】

短期間で仕様書上の要件が多岐に渡る事業だった。アンケートの回収率があまり高くなかったため、クロス集計の分析結果を絞るのに苦心した。

訪問ヒアリングにおいては、NPOの現場に出向き、現状を把握したほか、通常あまりつながりのない町内会や大学、企業へのインタビューができたことは新たな関係性のきっかけとなった。仙台市の掲げる「協働」の認識と、調査対象者が考えている「協働」の認識に大きな差があることから、提言活動にも反映する。

## (2) 講師等の派遣

行政やNPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO等に関する講演や研修などの講師を派遣した。

月日	派遣先
6月22日	ボランティア活動について 仙台市鶴ヶ谷市民センター
6月18日	あすと長町支援者ネットワーク ワークショップ・ファシリテーター
6月28日	みやぎNPOプラザ支援を呼び込むNPOになるための共感戦略講座
7月15日	とめ市民活動プラザ活きいき実践塾
7月20日	宮城いきいき学園仙南校講座
7月27日	みやぎNPOプラザ認定取得への第一歩！認定NPO法人講座
8月26日	みやぎNPOプラザNPO支援センター研修
9月1日	とめシニア・アカデミー開校式・講座
9月3日	EPO中間支援組織交流会 in 愛媛 パネラー
10月21日	専門相談会 相談員（名取市市民活動支援センター）
10月11日・16日	とめ市民活動プラザ「NPO何でも相談会」相談員
10月25日	『ボランティア力』引き出しセミナー（仙台市）
11月6日	とめ市民活動プラザ「NPO何でも相談会」相談員
11月5日	まちづくり活動団体情報交換会 おりませトーク ファシリテーター 仙台市市民活動サポートセンター
11月14日	NPO法人夜まわりグループ 研修会講師
11月17日	認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット研修会講師
11月26日	みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム コーディネーター
12月5日	サウジアラビア政府主催ワークショップ 事例報告
12月9日	平成28年度みやぎ地域づくり団体協議会登米支部交流会 講演
12月16日	とめ市民活動プラザ「NPO何でも相談会」相談員
12月18日	市民活動フェス2016（登米市）
1月26日	信頼や共感を得るための事務局運営講座（仙台市）
1月31日	とめ市民活動プラザ「NPO何でも相談会」相談員
2月4日	平成28年度みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部研修交流会 基調講演
2月15日	めざせ！認定NPO法人セミナー（仙台市）
2月17日	とめシニア・アカデミー講座
2月22日	みやぎNPOプラザ仲間の輪が広がる！ボランティア・コーディネート講座
2月28日	公益法人協会座談会
3月10日	とめ市民活動プラザ「NPO何でも相談会」相談員
3月15日	みやぎNPOプラザ今から準備を！NPOのための総会運営講座
3月20日	災害時のための市民セクター連携強化事業報告会（名古屋）
3月24日	復興に向けた絆力フォーラム in 宮城 コメンテーター
4月22日	東北文化学園大学 ボランティアについて講義
5月19日	平成29年度第1回「いこいの日」促進事業研修会 講演
5月31日	みやぎNPOプラザ行政職員のためのNPO講座

## (3) 相談対応

- ① NPOの事業運営や組織運営について個別に相談対応をした。

実績：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット  
NPO法人親子はねやすめ

**【事業成果】**

長期的に伴走型でサポートすることの成果に対して、県外から新天地を求めて関係を作りたいNPOのサポートは時間がかかることもあり、難しいかった。しかし、努力を惜しまないNPOなら信頼関係を構築することで新たな広がりにつながる。

(4) ヒアリング対応

中間支援組織として宮城県内の復興支援のNPO活動に関するヒアリングのほか、NPOの現状や当法人の組織運営に関する調査などに対応した。

- 6月20日 公益法人協会 非営利法人制度に関するヒアリング
- 7月12日 内閣府NPO担当部署ヒアリング
- 9月16日 株式会社デンソー 被災地のNPO 関連
- 12月13日 NPO 法人レスキューストックヤード 被災地NPO 関連ヒアリング
- 1月23日 東京学芸大学 田中氏 被災地NPO について
- 3月3日 大阪大学大学院公共政策研究 中島氏 被災地NPO の情報発信
- 3月23日 Panasonic (株) 東郷氏ヒアリング取材
- 4月26日 住友商事・市民社会創造ファンド  
インターンシッププログラムに関するヒアリング

6. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎNPOプラザ）の管理運営

平成17年4月から指定管理者として運営している宮城県内のNPO活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎNPOプラザ」は、4期目の平成28年4月から3年間の指定管理者。

平成28年度は、NPOの信頼性を高めるために、団体の情報公開を促進するための支援や、次世代のNPO・市民活動の担い手創出に関する取り組み、組織基盤の強化に結び付く事業展開を進めたほか、開館15周年を記念してフォーラムを開催した。

① 施設管理

i) 施設利用状況

年間の利用者は、前年度より2,449名減っている。1ヶ月平均の利用者は4,086名で、前年度1ヶ月平均の4,290名より204名の減だった。しかし、情報収集や提供、NPO相談、作業室、事務ブースやショップスペースの利用者数は伸びている。

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
H28合計	61	0	9,600	1,892	2,285	1,021	375	836	7	13,880	356	1,328	2,564	1,716	3,351	2,686	7,083	49,041
H27合計	50	2	9,939	2,099	1,724	1,075	284	779	10	14,636	300	1,708	2,290	1,701	3,165	2,354	9,374	51,490
H26合計	80	3	10,041	1,827	2,260	706	344	834	13	14,728	241	2,311	2,542	1,773	3,231	2,225	10,442	53,601

※NPO相談には専門相談を含む

ii) 会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
H28合計	282	5,257	1,145	212	4,305	854	116	775	315	175	1,367	453	310	2,176	915	1,095	13,880	3,682
H27合計	295	5,270	1,127	213	4,636	773	152	986	449	211	1,478	623	303	2,266	932	1,174	14,636	3,904
H26合計	307	5,555	1,198	219	4,706	832	123	830	308	193	1,431	504	286	2,206	903	1,128	14,728	3,745

iii) コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
H28合計	12,202	400	12,602	4	916	4,729	1,167,160	64	20
H27合計	11,687	944	12,631	3	1,059	5,808	1,525,245	95	26
H26合計	13,963	715	15,219	4	1,189	6,437	1,884,650	105	28

iv) 施設見学および運営ヒアリング

施設見学は16件(NPO9件、行政5件、学校関係1件、その他1件)、51名に対応し、みやぎNPOプラザの機能を紹介した。

v) 事務室等使用団体選考審査会

平成28年5月、9月、平成29年3月の3回、事務室、ショップ、ショップスペースの使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

② インターネット情報サイト(みやぎNPO情報ネット)運用業務

i) みやぎNPO情報ネット更新件数(2016.4.1~2017.3.31)

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
H28合計	278,913	2,785,904	89,885	292	228	809	424	3,167	220	116	66	25	28	14	300	5,689	301	60
H27合計	290,597	1,374,371	89,406	255	229	727	376	2,573	292	167	54	14	17	52	356	5,112	302	60
H26合計	305,503	1,100,413	85,017	288	268	807	358	2,599	327	237	52	16	11	21	400	5,384	259	60

ii) みやぎNPO情報ネットメールマガジン(2016.4.1~2017.3.31)

	NPO支援情報(トビックス)	プラザからのお知らせ	助成金情報	NPO法人認証情報	その他	合計
H28合計	39	113	205	25	1	383
H27合計	42	76	149	41	1	309
H26合計	82	78	95	38	0	293

※H28登録者数：H27年度末時点の総登録者数799名 + H28年登録増加数22名 = 821名

iii) みやぎNPOプラザブログ～おむすび日記～

	新規エントリー数						合計
	情報チーム日誌	NPOプラザの近況	全館イベント	助成金情報	NPO法人認証情報	講座レポート	
H28合計	41	76	10	72	10	18	227
H27合計	16	91	19	46	10	17	199
H26合計	14	98	8	40	12	3	175

iv) みやぎNPOプラザ Facebook 年間発信：291件

③ みやぎNPOプラザの情報誌編集・発行業務

i) One to One 発行

- ・発行日：年6回 奇数月の1日 発行部数：3,000部
- ・仕様：A3版2ツ折り カラー1色印刷

ii) 月刊杜の伝言板ゆるるプラザページ

- ・発行日：毎月1日 仕様：A4版1ページ カラー1色印刷
- ・発行部数：9,000部 ※2014年11月までは、10,000部を発行

※主な配布先

県内各市町村（42箇所）、県地方振興事務所（7箇所）、県内NPO支援施設（12施設）、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設（7施設）、仙台市市民センター、県外のNPO支援施設・団体（15箇所）など

④ NPOの促進・団体の育成等に関する相談業務

i) 専門相談

※定員：3団体/1日、相談時間：1時間/1団体、相談料：無料

- 会計・税務：18件 法律相談：6件
- 認定NPO法人申請相談：2件（うち1件は、認定申請）
- 雇用なんでも相談：7件（仙台市雇用労働相談センターと共催）
- 法人・団体運営相談：56件（毎月開催し、昨年度より7件増）

ii) 窓口相談

相談対応：220件（平成28年4月～平成29年3月）前年度より61件増  
 相談内容：団体運営やNPOの活動内容や連絡先に関する相談、日常的な会計処理や定款変更に関する相談など。専門性が高いものは専門相談につないだ。

⑤ NPOの促進・団体内の育成等に関する業務

i) NPO運営のためのマネジメント講座

	講座名	講師	日時	参加者数
1	支援を呼びこむNPOになるための共感戦略講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成28年6月28日(火)14:00～16:00	22
2	認定取得への第一歩！認定NPO法人講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成28年7月27日(水)14:00～16:00	23
3	今のままで大丈夫？NPOのためのリスク管理講座	藤田亮氏(弁護士)	平成28年9月28日(水)14:00～16:00	26
4	基礎から学ぶ！NPO法人設立講座	堀川晴代(みやぎNPOプラザ副館長)	平成28年12月16日(金)14:00～16:00	27
5	仲間の輪が広がる ボランティアコーディネート講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年2月22日(水)14:00～16:00	23
6	今から準備を！NPOのための総会運営講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年3月15日(水)14:00～16:00	24

参加者合計 145  
平均 24.2

ii) NPOの会計・税務・決算等の講座

	講座名	講師名	日時	参加者数
1	NPO・市民活動団体のための会計初級講座	小野恵子氏(会計サポーター)	平成28年6月16日(木)13:30～16:30	30
2	NPO会計 こんな時、ど～する！？ 知っておきたい“仕訳”の考え方	小野恵子氏(会計サポーター)	平成28年9月8日(木)13:30～16:30	26
3	基本を押さえる！NPOのための税金初級講座	平野由紀子氏(税理士)	平成28年10月21日(金)13:30～16:30	20
4	めざせ！数字で信頼されるNPO！ 決算書の読み方・活かし方	鎌田彰氏 ㈱日本政策金融公庫国民生活事業東北広域営業推進室室長	平成28年12月9日(金)13:30～16:30	21
5	NPOのための決算書作成初級講座in石巻	高橋秀一氏(税理士)	平成29年1月25日(水)13:00～15:30 ※石巻市総合体育館会議室で開催	17
6	NPO法人のための決算書作成講座	小野恵子氏(会計サポーター)	平成29年3月10日(金)13:30～16:30	21

参加者合計 135  
平均 22.5



⑥ NPOに関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、年1回開催。宮城県庁1階みやぎ広報室で開催し54名が受講。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	行政職員のためのNPO理解講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成28年5月26日(木)14:00~16:00 ※県庁1階みやぎ広報室で開催	54

⑦ NPO支援施設および中間支援組織の育成支援事業

i) NPO支援センター研修

対象：宮城県内のNPO支援施設や支援組織のスタッフ

	講座名	講師	日時	参加者数
1	NPO支援センターとそのスタッフに求められる役割とは	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成28年8月26日(金)13:00~17:00	22

ii) NPO支援センターとの連携および育成支援

2016年6月 県内の官設民営のNPO・市民活動支援施設の責任者が一同に会し、支援状況などの情報交換会を開催

12月 NPO法人とめ市民活動フォーラム主催の「市民活動フェスタ2016」の当日運営サポートをした。

⑧ みやぎNPOプラザNPOフォーラム

開館15周年を記念し、社会課題解決に取り組んできたNPOや市民活動団体の成果などを振り返り、今後のあり方を考えるフォーラムを主催した。

i) 事業概要

タイトル	みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム 市民社会への創造 ～未来を拓くNPOであるために～
対象	NPOや市民活動団体のメンバー、市民活動に関心のある市民
開催日時	11月26日(土)13:00~17:00
参加者数	74名
内容	<p>○開会挨拶(13:00~13:15、交流サロン) 大久保朝江 (みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるるの代表理事) 鈴木秀人氏(宮城県環境生活部次長)</p> <p>○問題提起(13:00~14:15、交流サロン) 分科会に先駆けて、これまでNPOが果たした役割や成果を振り返り、今まさに注目すべき課題を共有。</p> <p>○分科会(14:25~15:55、第1会議室、第2会議室、研修室) A「NPOの資金の現状」 事例発表者：多賀俊二氏(草の根金融研究所「くさの一ね」代表) B「NPOと世代交代」 事例発表者：新田英理子氏 (認定NPO法人日本NPOセンター事務局長) C「NPOで働くということ」 事例発表者：青木ユカリ氏 (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター常務理事、事務局長) コーディネーター：大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)</p> <p>○閉会(16:05~17:00、交流サロン) ○交流会(17:10~18:00、交流サロン)</p>

## ⑨ ボランティア育成事業

## i) 市民活動サロン

目的：市民活動やNPOへの理解を促進し、支援者・実践者として参画を促すため

対象：市民活動に関心のある市民

	第1回市民活動サロン「きっかけと仲間が見つかる市民活動カフェ」
日 時	10月15日（土）14：00～17：00
ゲ ス ト	平塚香代子さん（NPO法人アミューズおひさま代表理事）
内 容	・「市民活動とは」（プラザスタッフによる説明） ・ゲスト団体紹介 ・ワークショップ「市民活動シミュレーション」
参加者数	24名

	第2回市民活動サロン「NPOに参加するきっかけに！市民活動カフェ」
日 時	2月18日（土）13：30～15：45
ゲ ス ト	小椋亘さん（C I L たすけっと事務局スタッフ） ※同席：佐藤順子さん（C I L たすけっと副代表理事） 石原輝さん（NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ理事長） 清水福子さん（認定NPO法人あかねグループ理事長）
内 容	・「NPOとボランティアのいろは」（スタッフによる説明） ・「ボランティアとともに活動するNPOの実践者の話を聞こう」 ・ワークショップ「ゲストに気になることを聞いてみよう」
参加者数	24名

## ⑩ みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

・第1回：5月31日（火） ・第2回：1月15日（金）

## ⑪ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

## i) 利用者懇談会の開催

日 時	【第1回】9月14日（水）18：30～20：00
参加者数	利用者18名（10団体）、スタッフ4名 合計22名
内 容	1 自己紹介、2 意見交換・情報交換、3 プラザからのお知らせ NPOプラザを利用したことがある人を対象に開催。NPOプラザの利用方法や、活動財源の確保、世代交代などについて情報交換。
日 時	【第2回】1月18日（水）15：30～17：30
参加者数	10名（7団体、宮城県2名）、スタッフ5名 合計17名
内 容	1 自己紹介、2 意見交換・情報交換、3 プラザからのお知らせ 事務室、ショップ、レストラン使用団体を対象に開催。団体の活動状況や、抱える課題、その対応策などについて情報交換。

## ii) 認証事務情報交換会を実施（8月）

## iii) NPOの書籍販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む13団体。書籍の種類は19種類で、34冊販売した。

## 【事業成果】

- ・ 講座や相談会等の参加者数は、昨年度を上回った。
- ・ 開館15周年を記念して、フォーラムを開催し好評を得た。

## 7. NPO等連携事業

### (1) 真如苑「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営

- ・第2回助成団体を訪問し、事業完了報告に向けて、各団体精算報告内容・事業内容を確認  
助成団体：2016年5月第2回助成団体決定 7団体 (5/28)  
助成団体訪問（石巻・仙台）(11/2, 11/9, 11/10, 11/11)
- ・第3回「みやぎの居場所づくり助成」を17年4月に公募、5月30日に審査会を開催。  
9団体を選考し、助成団体として決定した。

#### 【事業成果】

第2回助成団体の事業完了報告確認のため団体訪問し、会計についてのアドバイスや相談対応を行った。結果的に各団体の現状を把握し、今後の支援イメージができた。第3回の助成募集も広報に力を入れた結果、23件の応募があった。

### (2) 日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班の事務局の延長

東日本大震災における民間支援の軌跡と動向調査を行う日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班の事務局を平成27年4月から平成28年3月まで担ったが、調査報告が完成せず、調査を東北大学西出研究室に移し、事務局としては助成先に1年間の期間延長を申請し、下記の報告書と報告会を共催した。

- ① 報告書「東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望」を1000部印刷し、調査協力者に送付
- ② 「東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望」調査最終報告会  
開催日時：5月23日（火）  
開催場所：東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟  
内 容：調査概要報告  
パネルディスカッション

### (3) みやぎNPO情報公開システム運用協議会事務局業務

平成24年に構築したNPOの検索システム「みやぎNPOナビ」のシステム運用協議会事務局を担当した。

構成団体：仙台市、気仙沼市、栗原市、登米市、石巻市、大崎市、名取市  
認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、  
NPO法人いしのまきNPOセンター

運用協議会の運営会議を開催：平成28年10月27日 会場：みやぎNPOプラザ  
平成29年 5月17日 会場：みやぎNPOプラザ

### (4) 非営利法人制度のあり方を考えるフォーラム in 宮城を共催

認定NPO法人日本NPOセンターと公益財団法人公益法人協会が、日本における2つの非営利法人制度（「一般・公益法人制度」「NPO法人制度」）がどのように市民社会に選択され利用されているか、共同で比較調査を実施した。さらに法人選択と認定選択（公益法人、認定NPO法人）の関係、行政庁／所轄庁や中間支援組織、企業、助成財団等の2つの法人制度に対する認識などを把握するために継続調査を実施した。その報告会の開催に共催した。

日 時 2017年2月27日(月) 13:30~17:00  
場 所 仙台市市民活動サポートセンター6階 セミナーホール  
参加人数 48名  
内 容 第1部「非営利法人格選択に関する実態調査」の報告  
中島 智人さん 産業能率大学准教授  
第2部 登壇者からのプレゼンテーション・パネルディスカッション  
＜登壇者＞ 中川政治さん(公益社団法人みらいサポート石巻専務理事)  
大久保朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)  
小松直子さん(宮城県環境生活部参事兼共同参画社会推進課長)  
手塚明美さん(一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ代表理事)  
＜コーディネーター＞新田英理子さん(認定NPO法人日本NPOセンター事務局長)  
＜コメンテーター＞山岡義典さん(非営利法人格選択に関する実態調査委員会委員長)

### 【事業成果】

東北地方では、初めての開催で、宮城県だけでなく東北六県から50名近い参加があった。事前に、申込者からの質問や期待するポイントを登壇者へ伝えたことで、当日は分かりやすい議論を展開できた。また、2月20日に完成したばかりの「非営利活動法人格選択に関する実態調査報告書(2016年度継続調査)」を参加者へ配布する機会となった。

### (5) 民間公益活動を促進するための 休眠預金活用に関する説明会を主催

平成28年12月9日、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」が公布された。この法律により、民間公益活動の促進のため、民間の団体が行う活動に休眠預金を活用することとなるため、制度の運用開始に先立ち、この法律について理解を深めるために説明会を開催した。

開催日時 平成29年4月24日(月) 14:00~16:00

会 場 宮城県本町分庁舎(漁信基ビル)702会議室

説明者 中尾 充さん 内閣府休眠預金等活用準備室

参加人数 35名

内 容 ・本法律の概要について  
・指定活用団体及び配分団体、今後のスケジュールについて等

対象者 非営利法人、中間支援組織、社会福祉協議会・生協・自治体のNPO担当職員等

主 催 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、  
NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、宮城県

### 【事業成果】

東北地方では初めての開催で、宮城県だけでなく東北六県からも参加があった。開催時点では、内閣府の審議会や専門委員会等が開催される前だったが、地方のNPOの疑問や受け取り方を確認することができた。また、宮城県と共催できたことで会場の提供があり、予算のない中での開催を可能にした。

### (6) 「被災者のための登米版シニアセンター事業」のサポートを受託

NPO法人とめ市民活動フォーラムが主催する60歳代以降の元気なおじさんシニア世代を対象にした「とめシニア・アカデミー」の人材育成プログラムを運営面及びプログラム人材など講

師や相談業務、運営サポートを受託。とめ市民活動フォーラムは公益財団法人 JKA から助成金を受け実施。

① とめシニア・アカデミー プログラムに講師を派遣

NPO運営基礎コース 9月1日 第1回 「NPOについて」  
10月20日 第2回 「組織作りについて」  
12月16日 第3回 「人材コーディネートについて」  
1月31日 第4回 「資金作りについて」  
2月17日 第5回 「広報について」

② 事業運営会議及び相談対応

6/4 7/5 7/27 8/17 9/13 9/23 10/20 10/27 11/19-20 12/26 1/12  
2/7 3/29

③ プログラム支援

12月18日 とめ市民活動大交流会にて実践・発表  
1月21日 先進事例 視察バス研修 引率

**【事業成果】**

委託された法人の新しい事業に道筋をつけることができた。翌年の事業資金確保に貢献できた。

(7) その他

- ① 明治ホールディングスお菓子寄贈プログラム 寄贈団体コーディネート  
障がいのある子どもたちへの支援活動をしているNPO5団体を推薦し、決定。

## 9. その他の支援事業

(1) 寄付月間～Giving December～公式公認企画（主催：寄付月間推進委員会）

NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、寄付を受ける側が寄付者に感謝して、きちんと寄付の使い道を報告することが進むきっかけづくりの全国的なキャンペーンである寄付月間～Giving December～に参加登録。寄付月間サイト URL：<http://giving12.jp/join/>

①期間：2016年12月1日～31日

②企画内容：月刊杜の伝言板ゆるる12月号の誌面上でNPOの寄付応援キャンペーンを掲載

i) 掲載内容

- ・ Giving December～寄付月間2016の趣旨説明
- ・ クラウドファンディングで寄付の成功体験
- ・ みやぎチャレンジプロジェクト（宮城県共同募金会）、エントリー団体の紹介

ii) 仕様 A4判1色16頁（うち7ページが「寄付キャンペーン特集」）

iii) 発行部数 9,000部

iv) 配架先 約630か所

v) HP特設ページ開設期間 2016年12月1日～2016年12月31日

URL：<http://www.yururu.com/cms/?p=1962>

訪問者数（2016年12月1日～31日）トップ：732、特設ページ：58

Facebook ページ：リーチ533人、いいね5

**【事業成果】**

月刊杜の伝言板ゆるるの誌面と当法人 HP トップの寄付月間バナーをリンクしたことで、寄付月間の周知と共に情報誌の存在の認知に貢献できた。

(2) NPOの基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

冊子名	発行者(団体)
NPO会計基準完全収録版第2版	NPO法人会計基準協議会
会計基準ハンドブック	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
知っておきたいNPOのこと「基礎編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと3「協働編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと4「参加編」	NPO法人日本NPOセンター
NPO法人のための業務チェックリスト	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
NPO会計日誌	NPO支援東京会議
会計ソフト「会計王」NPO法人スタイル	ソリマチ株式会社
「Q&A NPO会計マニュアル」	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

10. 他団体との連携や政策提言

(1) 多様な団体と連携した活動

① NPO法人会計基準協議会

世話団体及び幹事団体として、会計基準の普及に取り組んでいる。

- ・ 総会出席 (2016/6/9、2017/5/29)
- ・ 世話団体会幹事会 (7/31) 世話団体会 (8/18、4/21)
- ・ NPO所轄北海道東北ブロック意見交換会に出席 (10/31)

② 日本NPOセンター関連

- ・ 評議員会 (11/11、5/10)
- ・ 民間 NPO 支援センター・将来を展望する会 (CEO会議)  
(8/18-19、1/26-27、4/7-8)

③ NPOの法制度等改革推進会議

- ・ NPOの法制度等改革推進会世話団体会 (4/8)
- ・ 総会 (5/29)

④ みやぎソーシャルビジネスサポートネットワーク (準備会)

宮城県の地域課題をビジネスの手法で取り組むソーシャルビジネス団体を支援する組織を設立するための準備会に参加。

構成団体：宮城県、仙台市、日本政策金融公庫、東北税理士会、宮城県行政書士会、NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター  
打合せ：6/9 8/10 9/1 5/31

⑤ かほく「108」クラブ

河北新報社とその関連12社で作る社会貢献団体かほく「108」クラブの助成金『かほく「108」ファンド』のNPOへの広報協力や、選考審査委員としてサポート。

NPOで高校生の夏ボラ体験プログラムでは共催団体となって資金支援を受けている。

⑥ その他NPO関連役員等

- ・ NPO法人パートナーシップなとり理事会（8/21、9/21、2/24）総会 5/26
- ・ NPO法人 ICT 支援ネットワーク宮城理事会（6/16、4/26）総会 6/21
- ・ NPO法人とめ市民活動フォーラム理事会（6/4、10/16、12/26、2/7）
- ・ NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター評議員会（6/8）
- ・ 認定NPO法人あかねグループ評議員会（2/18）

⑦ 会員として連携

- ・ NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
- ・ NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
- ・ NPO法人会計基準協議会
- ・ NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ・ NPO法人日本NPOセンター
- ・ 東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）
- ・ NPO法人いしのまきNPOセンター
- ・ NPO法人とめ市民活動フォーラム
- ・ NPO法人パートナーシップなとり

(2) 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として市民活動・NPOの立場から提言した。

- ① 国：東北行政評価局会議行政に関する懇談会（大久保：2/13）
- ② 宮城県：宮城県防災会議（大久保：2/7）  
宮城県民間非営利活動促進委員会（甲山：8/25）  
宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会（大久保：2/2）
- ③ 仙台市：第2期 仙台市協働まちづくり推進委員会（庄司）  
委員会（6/7、8/4、8/31、12/5、2/8）  
アクションチーム（7/14、8/25、9/14、10/4、10/20、11/3、1/19）
- ④ 赤い羽根全国フォーラム実行委員会 in 松島（庄司：6/22-23）
- ⑤ その他：（公財）せんだい男女共同参画財団理事会（大久保：6/1、11/7、3/14、5/26）  
（公財）仙台観光国際協会評議会（大久保：6/10）  
せんだい豊齢学園運営委員会（12/18）

(3) 助成金等審査員

行政や民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- ・ （公財）仙台観光国際協会助成金審査会（6/7、9/13、12/13、3/14）
- ・ （一財）愛知揆一福祉財団「みやぎ社会貢献大賞」審査会（12/6）
- ・ 宮城県商工会小規模企業広域活性化事業委員会（大久保：3/8）
- ・ 加美町協働のまちづくり助成報告会・公開審査プレゼンテーション（5/20）
- ・ かほく「108」ファンド助成先選考審査会（6/10、1/24、4/27、5/11）
- ・ COOPトリプルカードみやぎスマイル基金（3/7、4/18）
- ・ 真如苑みやぎの居場所づくり助成審査（5/30）

### Ⅲ 組織運営に関する事項

#### 1. 総会の開催

平成 28 年度通常総会を開催

開催日時：平成 28 年 7 月 24 日（日）10：00～12：00

場所：みやぎNPOプラザ第 1 会議室

議案：第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 平成 28 年度事業計画案及び予算案の審議並びに承認

第 3 号議案 定款変更の審議及び議決

第 4 号議案 役員改選の審議及び議決

#### 2. 理事会の開催

開催日：第 133 回	6 月 28 日	H28 年度事業総括・理事改選について
第 134 回	7 月 12 日	H29 事業計画、定款変更、理事候補
第 135 回	8 月 25 日	副代表理事の選任、H28 年度事業計画について
第 136 回	9 月 27 日	エクセレント NPO・REDEAYFOR、自主事業
第 137 回	10 月 21 日	月刊ゆるる発行事業と自主事業
第 138 回	1 月 11 日	ゆるる 20 周年記念事業、理事合宿
第 139 回	2 月 28 日	ゆるる 20 周年記念事業、職員体制
第 140 回	3 月 27 日	ゆるる 20 周年記念事業、職員特別手当
第 141 回	4 月 29 日	理事合宿、事業方針（茂庭荘）

#### 3. 会議

##### (1) 事務局スタッフ及びみやぎNPOプラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 12 回開催。

開催日：6 月 6 日、7 月 4 日、8 月 1 日、9 月 5 日、10 月 3 日、11 月 7 日、  
12 月 5 日、1 月 16 日、2 月 6 日、3 月 6 日、4 月 3 日、5 月 8 日

##### (2) その他

編集会議、事務局会議、みやぎNPOプラザ管理職ミーティングを随時開催

#### 4. 組織の広報及び理解促進

##### (1) ホームページ等の運用

杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>)・ブログ (<http://blog.canpan.info/yururu>) を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ/お知らせ 35 件	事務局ブログ 98 件
------------------	-------------

##### (2) ゆるる通信の発行

杜の伝言板ゆるるの法人全体の活動を伝える「ゆるる通信」を隔月で発行。

発行日：6 月 1 日、8 月 1 日、10 月 1 日、12 月 1 日、2 月 1 日、4 月 1 日

発送先：正会員・賛助会員・月刊ゆるる発送先



掲載内容

6月号	理事コラム	NPO活動の充実化のために<小岩孝子>
	記事	宮城県初の開催！「認定NPO法人」の活動紹介イベント、NPOで高校生の夏ボラ体験2016受入団体の皆さんとの意見交換会を行いました、ゆるるの未来を語り合う～理事&リーダー合宿実施～、今年度の仙台市市民活動団体等実態・意向等調査業務を受託しました、みやぎNPOプラザ新体制でスタートです！
8月号	理事コラム	2016年度総会のご報告<大久保朝江>
	記事	NPOで高校生の夏ボラ体験2016始動！事前学習会開催！、ゆるるに新しい仲間がやってきた！！、宮城県NPO・市民活動支援団体ネットワークが設立されました！、「まわりをまきこむ」「つなぐ」支援を学ぶ～初任者研修に参加してきました！～
10月号	理事コラム	転換点のゆるる<波多野卓司>
	記事	学び合い高め合う日々～みやぎNPO経営ゼミ近況～、今年も高校生にNPOの種まきを、「とめシニア・アカデミー」開講しました！、秋の夜長にNPOをアツく語る！プラザで利用者懇談会を開催しました！
12月号	理事コラム	市民セクター会議2016に参加して<熊谷智美>
	記事	共に学ぼう！組織の基盤を整える7つのこと、河北新報夕刊にて「NPOの杜」が始まりました！、住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラム インターン中間報告会を終えて、みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム開催までの裏話
2月号	理事コラム	ことし20周年を迎えるゆるる<大久保朝江>
	記事	第4回エクセレントNPO大賞 組織賞いただきました！、今年一年をボランティアさんと締めくくる「ボランティア納会」開催、濃密な3日間！～みやぎNPO経営ゼミ関西研修レポート、プラザの利用者懇談会を開催しました！
4月号	理事コラム	「雇用の場」としてのNPOを再考する
	記事	これからの中間支援に求められること～非営利法人制度のあり方を考えるフォーラム in 宮城～を終えて 第2回市民活動カフェ 開催！！

(3) 新聞等の掲載

i) 記事掲載 14件

日付	媒体	内容
7/18	河北朝刊	「夏ボラ」心構え 高校生40人学ぶ
9/4	愛媛新聞	大震災に備え NPO機能向上 連携強化を訴え
11/10	河北夕刊	来年5月創刊20周年 ネット寄付広く募る
11/29	河北朝刊	NPOプラザ開館15周年記念フォーラム
11/15	女性のためのやさしい起業レシピ	団体紹介
H28.12/20	大崎タイムス	登米で市民活動フェス
H29.1/14	毎日新聞	エクセレントNPO大賞
H29.1/15	福祉みやぎ1月号	ちいきをつ・な・ぐ 人・情報・地域 をむすぶ拠点『みやぎNPOプラザ』
H29.3/7	河北朝刊	非営利法人制度 厳しい現状語る 仙台でフォーラム
H29.3/15	Vo!o NO.511	東日本大震災 仙台発 現地から伝える「被災地の今」
H29.3/26	河北朝刊	被災地の現状知って 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム
H29.5/7	河北朝刊	<奥山市政の通信簿>市民協働をかたる
H29.5/15	The BIG ISSUE	Panasonic NPO サポートファンド 認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
H29.5/29	河北夕刊	宮城の市民活動紹介 情報誌「杜の伝言板ゆるる」 地域団体へ光当て20年

講座・イベント告知 43件

## ii) 寄稿

発行月	冊子名	発行	タイトル
2017. 2	ウォロ	大阪ボランティア協会	高齢者を孤立させない
2016. 11	女性のためのやさしい 起業レシピ	NPO 法人福島県ベンチャー・ SOHO・テレワーカー共働機構	NPO 設立支援の NPO
2016. 11	NPO 支援組織による災害 支援活動 ～東日本大震 災の取組みから考える	日本 NPO センター	価値観を共有した NPO 支 援の実践～全国の支援セン ターとの連携～
2017. 1	あかねグループ 35 周 年記念誌	認定 NPO 法人あかねグルー プ	女性の市民活動の老舗とし て
2017. 5	「東日本大震災後設立の NPO における 活動実態 と今後の展望」 報告書	日本 NPO 学会震災特別プロジ ェクト東北班	・被災地 NPO の資金源 ・持続可能な NPO の資金と 人材の展望

## 5. 会員

正会員 51 団体・個人

賛助会員 99 団体・個人

(平成 29 年 5 月 31 日現在)

## 6. 事務局員体制

## (1) 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡 3-11-6)

代表理事・事務局長：大久保朝江 (H26. 4. 1～ )

総務部門長： 1 名 (H27. 4. 1～) 企画部門長： 1 名 (H28. 4. 1～)

他 常勤職員 1 名

## (2) みやぎ NPO プラザ勤務 (宮城野区榴ヶ岡 5)

館 長：1 名 (非常勤)

常勤職員：7 名 (副館長：1 名・運営スタッフ 5 名・情報担当 1 名)

非常勤職員：1 名

## 7. ボランティア

ボランティア登録数：15 人 (新規 3 名を含む)

総時間数：下記の通り (昨年度の 494 時間より 35.25 時間増)

	事務局	月刊ゆるる 発送	みやぎ NPO プラザ			
			施設環境維持	データ 入力	事務 サポート	講座・催事 サポート
時間	107.25	124	10	90.5	188.5	9
人数	45	53	13	36	60	2

※のべ総時間数：529.25 時間／のべ総人数：209 人

## 8. 寄附

- ① 真如苑より、月刊ゆるるの発行や夏ボラ体験などの特定非営利活動にかかる活動に支援す

る寄附金の贈呈があった。

## ② クラウドファンディング（READY FOR）での寄附

「創刊 20 周年！ NPO を応援する市民活動情報誌を継続発刊したい」を目的に、10/17～11/16 の 1 か月間で 40 万円を目標に組織全体で取り組み、総勢 74 名の方々から 625,000 円の寄附をいただいた。

## 9. エクセレントNPO大賞を受賞

非営利組織の強化、底上げを目的に設けられたもので、優れた活動をしているNPOなどの民間非営利組織を顕彰する「エクセレントNPO大賞」。翌年創立 20 周年を迎えるにあたり、組織を客観的に見つけて評価してもらう取り組みとして挑戦した。

書類の第 1 次審査で選考され、第 2 次審査としてクラウドファンディング（READY FOR）へエントリーすることになった。

12 月 15 日に行われた 2 次審査エントリー団体表彰式にて「第 4 回エクセレント NPO 大賞・組織力賞」を受賞。実行委員会から 50 万円の寄附があった。

平成 29 年 5 月 1 日発行の月刊杜の伝言板ゆるる創刊 20 周年記念号は、フルカラー印刷で 10,000 部発行でき、多くの市民へ配布した。

## 10. 職員研修

業務上必要なスキルを習得するため、内外の研修に参加した。また、NPO の情報収集やネットワーク構築のために会議等に出席した。

研修日	研修名	主催団体	参加数
5 月 1 日、 2 日	NPO 法人杜の伝言板ゆるる理事および 管理職合同研修	認定NPO 法人杜の伝言板ゆるる	3 名
6 月 6 日	情報セキュリティ研修	認定NPO 法人杜の伝言板ゆるる	8 名
6 月 14 日	普通救命講習 I	宮城県文化財保護課分室	3 名
7 月 7 日、 8 日	NPO 支援センター初任者研修（横浜）	認定NPO 法人日本NPOセンター	1 名
8 月 2 日	認定NPO 法人申請対策セミナー	認定NPO 法人シーズ・市民活動を支える 制度をつくる会	1 名
8 月 9 日	記事の書き方研修	認定NPO 法人杜の伝言板ゆるる	2 名
8 月 26 日	NPO 支援センター研修	宮城県（みやぎNPOプラザ）	2 名
2 月 27 日	非営利法人制度のあり方を考えるフォー ラム in 宮城 ～民間非営利セクターの発展に向けて～	非営利法人格選択に関する実態調査委員会	5 名
3 月 16 日	社会的インパクト評価最終報告会 in 仙台	認定NPO 法人 Switch	1 名